

# 現代社会を見つめて5

情報サービス課 石美 真也

## 『アメリカ文化への招待』 朝日由紀子, 糸井輝子, 谷中寿子 共編 (北星堂書店) v, 275p.

アメリカは日本にいながらとても身近に感じられる国の一つではないでしょうか。アメリカの政治・経済や映画など、日本ではアメリカに関する情報に毎日のように触れることができます。しかし、日本人はアメリカについての知識をどれほど持っているのでしょうか。日常的に手に入る情報だけでアメリカを知ったように感じているのではないのでしょうか。

本書では、概説と原典資料とコラムの構成で、地理や政治、文学などアメリカを様々な側面から解説しています。アメリカが現代の形になる過程やアメリカが作り出した作品の移り変わりなど、アメリカ文化がよくわかります。知っているようで知らないアメリカを様々な視点で見ることができ、一読をお勧めします。

302.53-Amer

## 『21世紀アメリカの社会問題』 熊谷文枝 著 (勁草書房) v, 301, xip.

アメリカ社会に興味を持っている人は多いことと思います。アメリカで事業に大成功し、莫大な利益を得た人の話を聞くことはよくあります。強大な国というのがアメリカのイメージではないでしょうか。しかし、アメリカの社会は、多くのマイナス面を含んだ社会でもあります。

本書では、アメリカ社会の不平等や家族問題、犯罪やテロの問題など、アメリカ社会が抱えている問題が解説されています。貧富の差が激しいことや、犯罪が多い理由などが、アメリカに長く滞在した著者によって、分析されています。また、アメリカ社会を通して見た未来の世界問題も考察されています。社会の問題点を知ることは、国々とのより良い関係を構築していくためにも重要であると思います。

302.53-Kum

## 『アメリカの経済社会構造』 田島哲也 著 (中央経済社) 3, 7, 222p.

日本経済について考える時、アメリカは必ず意識される存在です。アメリカ経済に対する研究も数多くされています。しかし、経済におけるアメリカ人の発想には、日本人が理解に苦しむことも少なくありません。それは日本とアメリカの制度や習慣の違いというだけの理由でしょうか。

本書では、著者はアメリカ人との会談やアメリカで出版されている資料を参考にしており、アメリカ人の視点でアメリカ経済を解説しています。アメリカ人的な発想により、アメリカ経済の歴史や構造がよくわかります。アメリカ経済を理解する上で最も重要なことは、若者が中心となりリスクを冒しても新産業を開拓する経済風潮「フロンティア」であり、それがアメリカの原動力になっていると分析されています。日本とアメリカの文化的な違いを、経済を通して考えてみましょう。

332.53-Taj



いしみ しんや (司書)